

公表 平成31年1月23日

事業所名:多機能型事業所ベー

	チェック項目	はい	いいえ	課題	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			
	2 職員の配置数は適切であるか	7			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	バリアフリー化への配慮が必要などところがある。	常に子ども達のことを考え、再構造化している。トイレ等の段差を解消していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1	机上遊びがなかなか発展せず、走りまわったり不適切な遊びが起こることがある。	活動ごとに空間を分けている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3	スタッフ間で話し合う時間がなかなかもてない	スタッフミーティングの機会を習慣的に導入する。
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	7 事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		7	自己評価は実施されているが、ホームページの立ち上げが遅れており、公開できていない。	これから公開する予定。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5		外部評価を行い、業務改善につなげる。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			
適切な支援の提	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援・放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されている	7			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	非常勤のスタッフも交えて活動が決められると良いと思う。	非常勤スタッフも交えて活動内容について検討する機会を設ける。

供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
---	----	-------------------------	---	--	--	--

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援・放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			活動前の打ち合わせでその日の流れ、確認事項を共有している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	少人数で話している為、全体で把握しづらい。	振り返りの時間を設け、次の支援につながるよう気づいた点などを共有できるようにする。	
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	2			
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	24	医療的ケアが必要な子どもを支援している場合は、子どもの主治医や協力資料機関と連絡体制を整えているか					
	25	移行支援として保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解をはかっているか	2				必要に応じて許可を得た上で情報を共有している。
	26	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で支援内容等の工夫共有と相互理解をはかっているか	2				必要に応じて許可を得た上で情報を共有している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか					
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか		7			外での活動、公共機関の活用で地域の方と関わる機会を作る。
	29	(地域自立支援)協議会等こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5				自立支援協議会のこども部会に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2			必要に応じて行っている。今後も続けてゆく。
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2	会員が利用できるサービス、料金の説明にあいまいな部分がある。	契約時に行っている。	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7						
	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			迅速に対応できる様、こころがけている。			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		7			今後、企画してゆく。		
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6						
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2			不定期で通信を発行している。		
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	5						
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5						
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5				今後、企画してゆく。	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているとともに発生を想定した訓練を実施している			2			
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2					
43		事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している							
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか							
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			4				ファイルを作成してその都度記入できる様にしていく。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2						今後、企画してゆく。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5						